

# 東日本大震災復興支援プロジェクト

## 第26回活動報告



1



2



3



4



5



6

1. 被災した94歳のおばあちゃんと再会を約束しました。 2. 女性部直伝の芋煮を調理。 3. 初参加6人を含む10人が参加。 4. 多くの方が会場に足を運んでくれました。 5. 津波浸水深さを表示するパネル前で。 6. 現地の方が芋煮のお礼にと、その日獲れたばかりのカニを振る舞ってくれました。食べ放題。

**被災地で芋煮会を企画。  
相互の交流を図りました。**

今年度5回目（通算26回目）となる復興支援活動を9月21日、初参加者6人を含む総勢10人が参加して、宮城県東松島市で実施しました。

現地の方々から「地域住民同士の交流機会となるような場を提供してほしい」という事前の要望があったこともあり、この日は芋煮会を催しました。

会場となったデイサービス施設前には、地区住民や施設の利用者・職員ら約50人が集まり、庄内風芋煮などを囲みながら相互の交流を図りました。

参加者は、津波の体験談や現地の近況など被災者の声に耳を傾け、継続した支援の必要性を感じ取っていました。

最後には、要介護の高齢者の方々が感謝の気持ちを伝えたいと歌や手話を披露して下さり「遠いところありがとうございました」「とても楽しい時間を過ごせました。また会いに来て下さい」などと感謝の言葉をいただき、プロジェクトでは再訪問を約束しました。

【参加者】鈴木大亮（総合戦略室）、阿部亮矢（経理システム課）、斎藤誌穂（生活課）、清嶋夏希（園芸特産課）、五十嵐澤（南支所）、太田学（北支所）、阿部真（北支所）、佐藤莉菜（北支所）、伊藤由貴（北支所）、佐藤南美（上郷支所）